Dell™ Latitude™ E5400 および E5500 セットアップおよびクイックリファレンスガイド

本ガイドには、お使いのコンピュータの機能概要、仕様、クイックセットアップ、ソフトウェア、トラブルシューティング情報を記載しています。オペレーティングシステム、デバイス、テクノロジの詳細については、support.jp.dell.com の『Dell™ テクノロジガイド』を参照してください。

モデル：PP32LA および PP32LB

メモ、注意、および警告

メモ：コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。

注意：ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

警告：物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示します。

Dell™ シリーズコンピュータをご購入いただいた場合、このマニュアルの Microsoft® Windows® オペレーティングシステムについての説明は適用されません。

Macrovision 製品通知

この製品には、Macrovision Corporation および他の権利所有者が所有する一定の米国 特許権および知的所有権によって保護されている著作権保護技術が組み込まれています。本製品の著作権保護テクノロジは Macrovision Corporation に使用権限があり、同社の許可がない限り、家庭内および限定的な表示にのみ使用することを目的としています。リバースエンジニアリングや分解は禁止されています。

モデル：PP32LA および PP32LB

2008 年 5 月　　P/N P204C　　Rev.A00

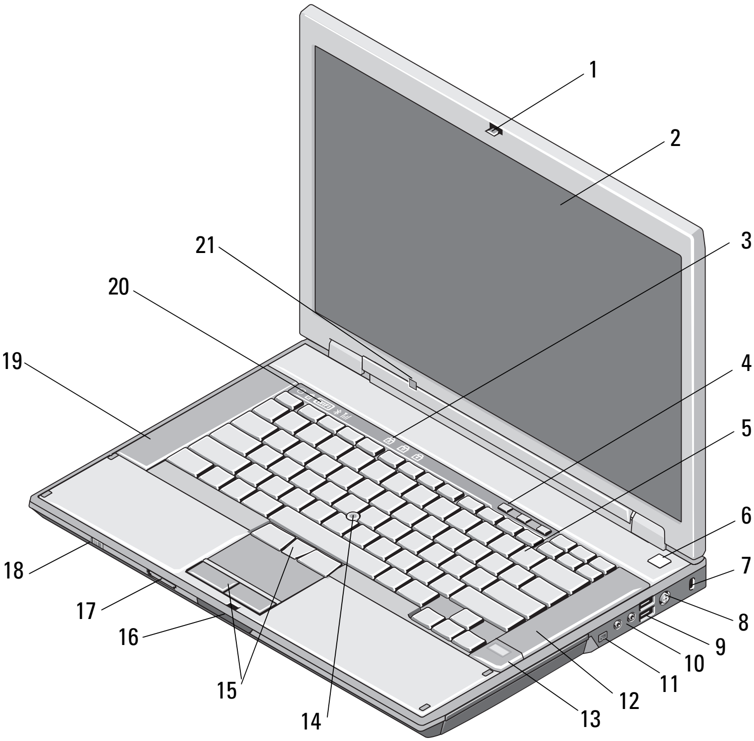
目次

1

お使いのコンピュータについて

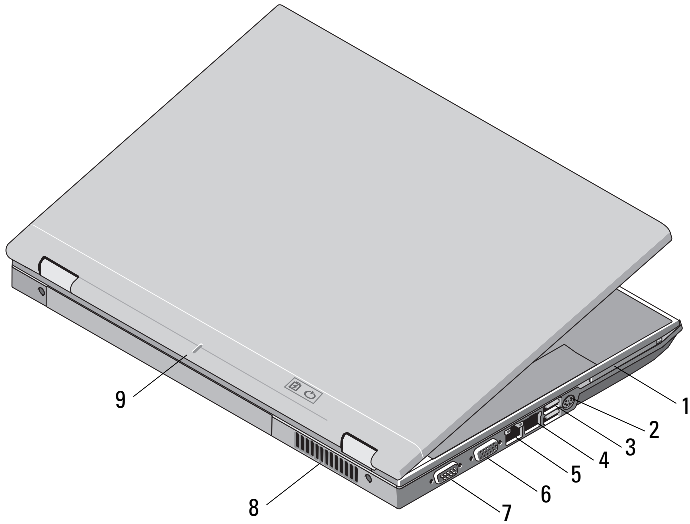
メモ：本項に記載する図は Dell™ Latitude™ E5400 および E5500 いずれにも適用されます。

正面図



1	ディスプレイリリースラッチ（位置はモデルによって異なります）	2	ディスプレイ
3	キーボード ステータスライト	4	ボリュームコントロールボタン
5	キーボード	6	電源ボタン
7	セキュリティケーブルスロット	8	AC アダプタコネクタ
9	USB コネクタ (2)	10	オーディオコネクタ (2) **警告：オペレーティングシステムおよび / またはイコライザソフトウェアの音量コントロールやイコライザを真ん中以上の設定に変更すると、イヤフォンやヘッドフォンの出力が上がり、聴覚障害や損失を起こす可能性があります。**
11	IEEE 1394 コネクタ（位置はモデルによって異なります）	12	右スピーカー
13	指紋リーダー（オプション）	14	トラックスティック（オプション）
15	トラックスティックボタン / タッチパッドボタン	16	ディスプレイリリースラッチ
17	SD メモリカードリーダー	18	ワイヤレススイッチ
19	左スピーカー	20	デバイスステータスライト
21	環境照明センサー		

背面図



1	PC カードスロット	2	S-video（S/PDIF）コネクタ
3	USB コネクタ（2）	4	RJ-11 モデムコネクタ（オプション）
5	RJ-45 ネットワークコネクタ	6	ビデオコネクタ
7	シリアルコネクタ（E5500 のみ）	8	冷却用通気孔
9	ドッキング用位置合わせマーク		

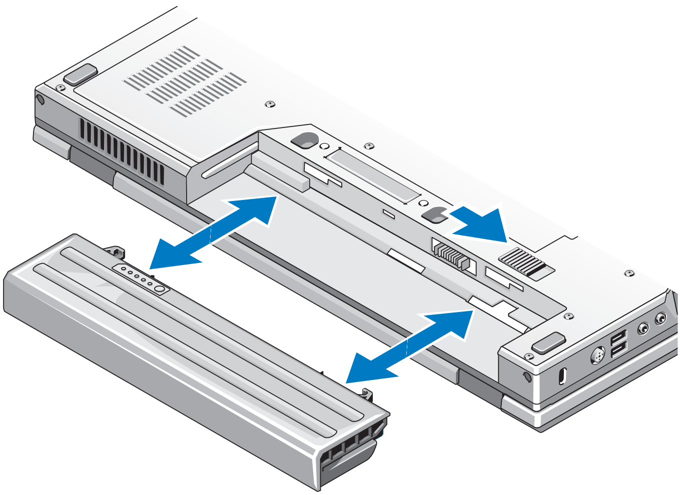
警告：冷却用通気孔を塞いだり、物を押し込んだり、埃や異物が入ったりすることがないようにしてください。コンピュータの稼動中は、ブリーフケースの中など空気の流れの悪い環境に Dell コンピュータを置かないでください。空気の流れを妨げると、火災の原因になったり、コンピュータに損傷を与えたりする恐れがあります。コンピュータは熱を持った場合にファンを動作させます。ファンからノイズが聞こえる場合がありますが、これは一般的な現象で、ファンやコンピュータに問題が発生したわけではありません。

バッテリの取り外し

⚠ **警告：本項の手順を開始する前に、お使いのコンピュータに同梱の、安全にお使いいただくための注意に従ってください。**

⚠ **警告：適切でないバッテリーを使用すると、火災または爆発を引き起こす可能性があります。交換するバッテリーは、必ずデルが販売している専用のものをお使いください。バッテリーは、お使いの Dell™ コンピュータで動作するように設計されています。お使いのコンピュータに別のコンピュータのバッテリーを使用しないでください。**

⚠ **警告：この手順を開始する前に、コンピュータの電源を切り、AC アダプタを電源コンセントおよびコンピュータから取り外して、モデムを壁のコネクタおよびコンピュータから取り外し、コンピュータからその他のすべての外付けケーブルを外します。**



ワイヤレススイッチ

 ワイヤレススイッチアイコン

ワイヤレススイッチを使用してネットワークを検出するか、ワイヤレスデバイスを有効または無効にします。インターネットへの接続に関する詳細は、14 ページの「インターネットへの接続」を参照してください。

2

コンピュータのセットアップ

クイックセットアップ

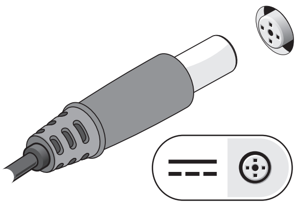
警告：本項の手順を開始する前に、お使いのコンピュータに同梱の、安全にお使いいただくための注意に従ってください。

警告：AC アダプタは世界各国のコンセントに適合します。ただし、電源コネクタおよび電源タップは国によって異なります。互換性のないケーブルを使用したり、ケーブルを不適切に電源タップまたはコンセントに接続したりすると、火災の原因になったり、装置に損傷を与えたりする恐れがあります。

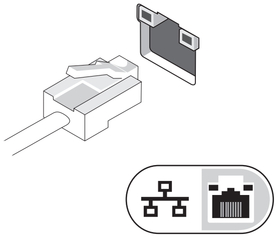
注意：AC アダプタケーブルをコンピュータから外す場合、ケーブルの損傷を防ぐため、コネクタを持ち（ケーブル自体を引っ張らないでください）しっかりと、かつ慎重に引き抜いてください。AC アダプタケーブルをまとめる場合は、ケーブルの損傷を防ぐため、AC アダプタのコネクタの方向に合わせてください。

メモ：別途ご注文いただかないと同梱されないデバイスもあります。

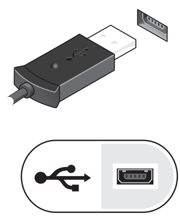
1 AC アダプタをコンピュータの AC アダプタコネクタに接続し、電源コンセントに差し込みます。



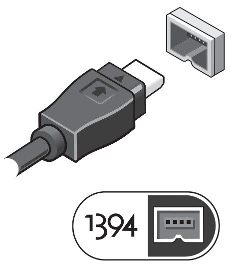
2　ネットワークケーブル（付属していません）（オプション）を接続します。



3　マウス、キーボード、またはプリンタなどの USB デバイスをコンピュータに接続します。



4　メディアプレーヤー（オプション）などの IEEE 1394 デバイスを接続します。

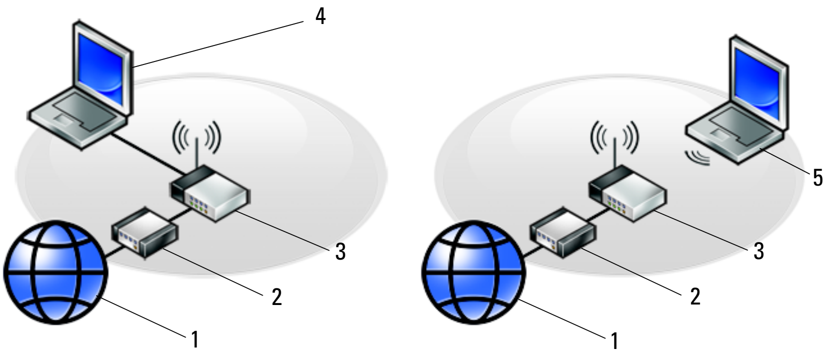


5 コンピュータのディスプレイを開いて電源ボタンを押し、コンピュータの電源を入れます。



メモ：カードをインストールしたりコンピュータをドッキングデバイスやプリンタなどのその他の外付けデバイスに接続する前に、最低 1 回はコンピュータの電源を入れて、シャットダウンする操作を行うようお勧めします。

6 インターネットに接続します（オプション）。詳細に関しては、**14** ページの「インターネットへの接続」を参照してください。



1	インターネットサービス	2	ケーブルモデムまたは DSL モデム
3	ワイヤレスルータ	4	有線接続のノートブックコンピュータ
5	ワイヤレスネットワーク接続のノートブックコンピュータ		

インターネットへの接続

メモ：ISP および ISP が提供するオプションは国によって異なります。

インターネットに接続するには、モデムまたはネットワーク接続、および ISP（インターネットサービスプロバイダ）が必要です。ダイヤルアップ接続をお使いの場合、インターネット接続をセットアップする前に、コンピュータのモデムコネクタおよび壁の電話コンセントに電話線を接続します。DSL またはケーブル（衛星）モデム接続をお使いの場合、セットアップの手順についてはご契約の ISP または携帯電話サービスにお問い合わせください。

インターネット接続のセットアップ

デスクトップ上にある ISP から提供されたショートカットを使用してインターネット接続をセットアップするには、次の手順を実行します。

1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。

2 Microsoft® Windows® デスクトップで ISP のアイコンをダブルクリックします。

3 画面の手順に従ってセットアップを完了します。

デスクトップに ISP のアイコンがない場合、または別の ISP を使ってインターネット接続をセットアップしたい場合は、下記の該当する項の手順を実行します。

メモ：インターネットに接続できない場合は、『Dell テクノロジガイド』を参照してください。過去にインターネットに正常に接続できていた場合、ISP のサービスが停止している可能性があります。サービスの状態について ISP に確認するか、後でもう一度接続してみてください。

メモ：ご契約の ISP 情報をご用意ください。ISP に登録していない場合は、**インターネット接続** ウィザードをご利用ください。

Microsoft® Windows® XP オペレーティングシステム

1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。

2 スタート→ **Internet Explorer**→ **インターネットに接続** をクリックします。

3 次のウィンドウで、該当する以下のオプションをクリックします。

- ISP と契約していない場合は、**インターネット サービス プロバイダ (ISP) の一覧から選択する** をクリックします。
- ISP からセットアップ情報を入手済みであるが、セットアップ CD を受け取っていない場合は、**接続を手動でセットアップする** をクリックします。
- セットアップ CD を持っている場合は、**ISP から提供された CD を使用する** をクリックします。

4 **次へ** をクリックします。

手順 3 で **接続を手動でセットアップする** を選んだ場合は、手順 5 に進みます。それ以外の場合は、画面の手順に従ってセットアップを完了してください。

メモ：どの種類の接続を選んだらよいかわからない場合は、ご契約の ISP にお問い合わせください。

5 **インターネットにどう接続しますか ?** で該当するオプションをクリックし、**次へ** をクリックします。

6 ISP から提供されたセットアップ情報を使って、セットアップを完了します。

Microsoft Windows Vista®

1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。

2 Windows Vista スタートボタン → **コントロールパネル** をクリックします。

3 **ネットワークとインターネット**の**インターネットに接続する**をクリックします。

4 **インターネットへの接続** ウィンドウで、希望する接続方法によって、**ブロードバンド (PPPoE)** または **ダイヤルアップ** をクリックします。

- DSL、衛星モデム、ケーブルテレビのモデム、または Bluetooth ワイヤレステクノロジ接続を使用する場合は、**ブロードバンド** を選択します。
- ダイヤルアップモデムまたは ISDN を使用する場合は、**ダイヤルアップ** を選択します。

メモ：どの接続タイプを選択すべきか分からない場合は、**選択についての説明を表示します** をクリックするか、ご契約の ISP にお問い合わせください。

5 画面の指示に従って、ISP から提供されたセットアップ情報を使用してセットアップを完了します。

新しいコンピュータへの情報の転送

Microsoft Windows XP オペレーティングシステム

Microsoft Windows XP には、データを元のコンピュータから新しいコンピュータに転送する、ファイルと設定の転送ウィザードがあります。

ネットワーク接続またはシリアル接続を介して新しいコンピュータにデータを転送したり、書き込み可能 CD などのリムーバブルメディアにデータを保存したりできます。

メモ：古いコンピュータから新しいコンピュータに情報を転送するには、シリアルケーブルを 2 台のコンピュータの入力 / 出力 (I/O) ポートに直接接続します。
2 台のコンピュータで直接ケーブルを接続する手順については、マイクロソフトのウェブサイトで文書 #305621 の「How to Set Up a Direct Cable Connection Between Two Computers in Windows XP」という文書を参照してください。この情報は、特定の国では使用できない場合もあります。

新しいコンピュータに情報を転送するには、ファイルと設定の転送ウィザード を実行する必要があります。

オペレーティングシステムメディアを使用してファイルと設定の転送ウィザードを実行する場合

メモ：この手順では、『オペレーティングシステム』メディアが必要です。この メディア はオプションなので、出荷時にすべてのコンピュータに付属しているわけではありません。

新しいコンピュータに情報を転送するには次の手順を実行します :

1 ファイルと設定の転送ウィザードを開きます。これには、**スタート**→ **すべてのプログラム** → **アクセサリ**→ **システムツール**→ **ファイルと設定の転送ウィザード** をクリックします。

2 **ファイルと設定の転送ウィザードの開始** 画面が表示されたら、**次へ** をクリックします。

3 **これはどちらのコンピュータですか ?** 画面で、**転送先の新しいコンピュータ**→ **次へ** をクリックします。

4 **Windows XP CD がありますか ?** 画面で **Windows XP CD からウィザードを使います**→ **次へ** をクリックします。

5 **今、古いコンピュータに行ってください** 画面が表示されたら、古いコンピュータまたはソースコンピュータに行きます。このときに、**次へ** をクリックしないでください。

古いコンピュータからデータをコピーするには次の手順を実行します :

1 古いコンピュータで、Windows XP の『オペレーティングシステム』メディアを挿入します。

2 **Microsoft Windows XP へようこそ** 画面で、**追加のタスクを実行する** をクリックします。

3 **何を転送しますか ?** 画面で、**ファイルと設定を転送する**→ **次へ** とクリックします。

4 **これはどちらのコンピュータですか ?** 画面で、**転送元の古いコンピュータ**→ **次へ** をクリックします。

5 **転送方法を選択してください** 画面で希望の転送方法をクリックします。

6 **何を転送しますか ?** 画面で転送する項目を選択し、**次へ** をクリックします。

情報がコピーされた後、**ファイルと設定の収集フェーズを処理しています ...** 画面が表示されます。

7 **完了** をクリックします。

新しいコンピュータにデータを転送するには次の手順を実行します :

1 新しいコンピュータの **今、古いコンピュータに行ってください**。画面で、**次へ** をクリックします。

2 **ファイルと設定はどこにありますか ?** 画面で設定とファイルの転送方法を選択し、**次へ** をクリックします。

ウィザードは収集されたファイルと設定を読み取り、それらを新しいコンピュータに適用します。

設定とファイルがすべて適用されると、**収集フェーズを処理しています**… 画面が表示されます。

3 **完了** をクリックして、新しいコンピュータを再起動します。

オペレーティングシステムメディアを使用せずにファイルと設定の転送ウィザードを実行する場合

『オペレーティングシステム』メディアを使用せずに、ファイルと設定の転送ウィザードを実行するには、バックアップイメージファイルをリムーバブルメディアに作成できるウィザードディスクを作成する必要があります。

ウィザードディスクを作成するには、Windows XP を搭載した新しいコンピュータを使用して、以下の手順を実行します :

1 ファイルと設定の転送ウィザードを開きます。これには、スタート→ すべてのプログラム→ アクセサリ→ システムツール→ ファイルと設定の転送ウィザード をクリックします。
2 ファイルと設定の転送ウィザードの開始 画面が表示されたら、次へ をクリックします。
3 これはどちらのコンピュータですか ? 画面で、転送先の新しいコンピュータ→ 次へ をクリックします。
4 **Windows XP CD** がありますか **?** 画面で、次のドライブでウィザードディスクを作成する→ 次へ をクリックします。
5 書き込み可能 CD などのリムーバブルメディアを挿入して、**OK** をクリックします。
6 ディスク作成が完了したら、今、古いコンピュータに行ってください。というメッセージが表示されますが、次へ はクリックしないでください。
7 古いコンピュータに移動します。

古いコンピュータからデータをコピーするには次の手順を実行します :

1 古いコンピュータにウィザードディスクを挿入し、スタート→ ファイル名を指定して実行 をクリックします。
2 ファイル名を指定して実行 ウィンドウの 名前 フィールドで、**fastwiz**（該当するリムーバブルメディア）へのパスを参照して入力し **OK** をクリックします。
3 ファイルと設定の転送ウィザードの開始 画面で、次へ をクリックします。
4 これはどちらのコンピュータですか ? 画面で、転送元の古いコンピュータ→ 次へ をクリックします。
5 転送方法を選択してください 画面で希望の転送方法をクリックします。

6 **何を転送しますか ?** 画面で転送する項目を選択し、**次へ** をクリックします。

情報がコピーされた後、**ファイルと設定の収集フェーズを処理しています ...** 画面が表示されます。

7 **完了** をクリックします。

新しいコンピュータにデータを転送するには次の手順を実行します。

1 新しいコンピュータの **今、古いコンピュータに行ってください** 画面で、**次へ** をクリックします。

2 **ファイルと設定はどこにありますか ?** 画面で設定とファイルの転送方法を選択し、**次へ** をクリックします。画面の指示に従います。

ウィザードは収集されたファイルと設定を読み取り、それらを新しいコンピュータに適用します。

設定とファイルがすべて適用されると、**収集フェーズを処理しています…** 画面が表示されます。

3 **完了** をクリックして、新しいコンピュータを再起動します。

メモ：この手順の詳細については、**support.jp.dell.com** で文書 #154781（「What Are The Different Methods To Transfer Files From My Old Computer To My New Dell™ Computer Using the Microsoft® Windows® XP Operating System?」）を検索してください。

メモ：Dell™ Knowledge Base のマニュアルにアクセスできない国もあります。

Microsoft Windows Vista

1 Windows Vista のスタートボタンをクリックし、**ファイルと設定を転送する→ Windows Easy Transfer をスタートする** をクリックします。

2 **ユーザーアカウント制御** ダイアログボックスで、**続行** をクリックします。

3 **新しい転送を開始する** または **実行中の転送を続行する** をクリックします。

Windows Easy Transfer ウィザードの画面の指示に従います。

3

仕様

メモ： 提供される内容は地域により異なる場合があります。コンピュータの構成に関する詳細については、**スタート**→ **ヘルプとサポート** をクリックし、コンピュータに関する情報を表示するためのオプションを選択してください。

メモ： 特に記載がない限り、仕様は Dell™ Latitude™ E5400 と E5500 のいずれにも適用されます。

プロセッサ	
プロセッサタイプ	Intel® Core™ 2 Duo プロセッサ Intel Celeron® プロセッサ (Socket P)
L1 キャッシュ	32 KB（インストラクションごと）、32 KB データキャッシュ（コアごと）
L2 キャッシュ	1 MB (Intel Celeron) 6 MB (Intel Core 2 Duo)
フロントサイドバスの周波数	最大 1066 MHz (Intel Core 2 Duo)

システム情報	
システムチップセット	モバイル Intel GE45 Express チップセット
データバス幅	64 ビット
DRAM バス幅	デュアルチャネル (2) 64 ビットバス
プロセッサアドレスバス幅	32 ビット
フラッシュ EPROM	16 MB
グラフィックスバス	適用なし
PCI バス （ビデオコントローラ用 PCI-Express）	32 ビット

3-in-1 メモリカードリーダー	
3-in-1 メモリカードコントローラ	Ricoh R5C847
3-in-1 メモリカードコネクタ	3-in-1 コンボカードコネクタ
サポートするカード	SD、SD I/O、マルチメディアカード (MMC)

メモリ	
メモリモジュールコネクタ	DIMM スロット x 2
メモリモジュールの容量	512 MB または 1 GB、2 GB、3 GB、または 4 GB 対応
メモリのタイプ	DDR II 667 MHz and 800 MHz SDRAM
最小メモリ	512 MB
最大搭載メモリ	4 GB

メモ：メモリの一部はシステムファイル用に確保されているため、表示される使用可能なメモリ容量は、取り付けられているメモリの最大容量を反映しません。

ポートとコネクタ	
PC カード	Type I/II PC カードコネクタ
オーディオ	マイクコネクタ、ステレオヘッドフォン / スピーカコネクタ
IEEE 1394	4 ピンコネクタ
ミニカードのサポート（内蔵拡張スロット）	フルサイズミニカード x 1、ハーフサイズミニカードスロット x 1
モデム	オプション (RJ-11) コネクタ
ネットワークアダプタ	RJ-45 コネクタ
ビデオ	S-video（S/PDIF アダプタをサポート）、VGA
USB	USB コネクタ x 4
シリアルポート	9 ピン D-sub コネクタ
E-family ドッキング	144-pin ドッキングコネクタ

通信	
モデム	オプションの内蔵モデム
ネットワークアダプタ	システム基板上の 10/100/1000 Ethernet LAN
ワイヤレス	ワイヤレス LAN (WLAN)、ワイヤレスパーソナルエリアネットワーク (WPAN) ミニカード
	Bluetooth® ワイヤレステクノロジ
モバイルブロードバンド	ミニカード
GPS	モバイルブロードバンドミニカードにより対応

ビデオ	
ビデオタイプ :	内蔵 Intel UMA graphics
ビデオコントローラ	Intel GE45
ビデオメモリ	共有ビデオメモリのサイズは最大 256 MB です
LCD インタフェース	LVDS
テレビサポート	S-video (S/PDIF) コネクタ

オーディオ	
オーディオタイプ	ハイデフィニッションオーディオ
オーディオコントローラ	IDT 92HD71B
ステレオ変換	24 ビット（デジタル変換、アナログ変換）
インタフェース :	
内蔵	HDA（ハイデフィニッションオーディオ）バス
外付け	マイク入力コネクタ、ステレオヘッドフォン / スピーカーコネクタ
スピーカ	4 Ω スピーカ × 2
内蔵スピーカアンプ	チャネルごと 1 ワット (4 Ω)
内蔵マイク	単一アナログマイク
ボリュームコントロール	大きさとミュートをコントロール

ディスプレイ	
タイプ （アクティブマトリックス TFT）	E5400 • ワイドアスペクト WXGA CCFL または WXGA+ CCFL E5500 • ワイドアスペクト WXGA または WXGA+（TrueLife および anti-glare）
寸法 :	全モデルで VESA 標準
最大解像度 :	
WXGA CCFL	E5400 と E5500: • 1280 x 800（anti-glare 付） E5400: • 1440 x 900（anti-glare 付） E5500: • 1440 x 900（TrueLife 付）
リフレッシュレート	60 Hz
動作角度	0°（閉じた状態）～ 160°
可視角度：	
	E5400: • 40°/40°/15°/30° (WXGA) • 40°/40°/15°/30° (WXGA+) E5500: • 40°/40°/15°/30° (WXGA) • 55°/55°/45°/45° (WXGA+)
ピクセルピッチ :	
WXGA	E5400: • 0.2373 mm x 0.2373 mm E5500: • 0.2588 mm x 0.2588 mm

ディスプレイ（続き）	
WXGA+	E5400: • 0.2109 mm x 0.2109 mm E5500: • 0.2304 mm x 0.2304 mm

キーボード	
キー数	83（デンマーク、イギリス、ブラジル、日本を除くすべての国）、84（デンマーク、イギリス）、85（ブラジル）、87（日本）
レイアウト	QWERTY / AZERTY / 漢字
サイズ	フルサイズ（19 mm キーピッチ）

タッチパッド	
X/Y 位置解像度 （グラフィックステーブルモード）	
寸法 :	
横幅	65.7 mm
高さ	38.2 mm

バッテリー	
タイプ	4 セル、6 セル、9 セル「スマート」リチウムイオン（デフォルトは 6 セル）
寸法 :	
奥行き	4 セルセルおよび 6 セル : 54 mm 9 セル : 76 mm
高さ	4 セルおよび 6 セル : 19.8 mm 9 セル : 21.1 mm
横幅	4 セルおよび 6 セル : 206 mm 9 セル : 224 mm
重量	4 セルおよび 6 セル：326 g 9 セル : 487 g

バッテリー（続き）	
アンペア時	4 セル、6 セルおよび 9 セル ：(2.6 AHr) バッテリ
電圧	4 セル : 14.8 Vdc 6 セルおよび 9 セル : 11.1 VDC
充電時間（概算）：	
Dell™ ExpressCharge™ モード	フル充電まで 2 時間
標準充電モード	フル充電まで 4 時間
動作時間（概算）	**メモ：**バッテリ駆動時間は動作状況によって変わり、電力を著しく消費するような状況ではかなり短くなる可能性があります（42 ページの「電源の問題」を参照）。
再充電制限	300 回充電 / 放電サイクル
温度範囲：	
動作時	0° ～ 35 ℃
保管時	–40° ～ 60 ℃
コイン型電池	4 年寿命

AC アダプタ	
タイプ	65 W Auto/Air アダプタ（オプション） 90 W E シリーズ 90 W D シリーズ
入力電圧	100 ～ 240 VAC
入力電流（最大）	1.5 A
入力周波数	50 ～ 60 Hz
出力電流 65 W Auto-Air	3.34 A（4 秒パルスのとき最大）
出力電流 90 W（E シリーズ）/ 90 W（D シリーズ）	5.62 A（4 秒パルスのとき最大）
出力電流 90 W（連続稼動の場合）	4.62 A
出力電力	65 W または 90 W
定格出力電圧	19.5 VDC

AC アダプタ（続き）	
65 W Auto-Air 寸法 :	
高さ	16 mm
横幅	66 mm
奥行き	127 mm
重量（ケーブル含む）	0.29 kg
90W（E シリーズ）寸法 :	
高さ	16 mm
横幅	70 mm
奥行き	147 mm
重量（ケーブル含む）	0.345 kg
90W（D シリーズ）寸法 :	
高さ	34.2 mm
横幅	60.87 mm
奥行き	153.45 mm
重量（ケーブル含む）	0.555 kg
温度範囲 :	
動作時	0° ～ 40 °C
保管時	–40°～ 70 °C

寸法	
E5400	
高さ	338 mm
横幅	240 mm
奥行き	37.0 mm
重量	2.59 kg（UMA グラフィック、6 セルバッテリー、DVD を取り付けた状態）

寸法（続き）	
E5500	
高さ	355 mm
横幅	260 mm
奥行き	37.5 mm
重量	2.91 kg（UMA グラフィック、6 セルバッテリー、DVD を取り付けた状態）

環境	
温度範囲：	
動作時	0° ～ 35 ℃
保管時	–40° ～ 65 ℃
相対湿度（最大）：	
動作時	10% ～ 90%（結露しないこと）
保管時	5% ～ 95 %（結露しないこと）
最大振動（ユーザー環境をシミュレートするランダム振動スペクトラムを使用時）：	
動作時	0.66 GRMS
保管時	1.3 GRMS
最大衝撃（HDD のヘッド停止位置で 2 ミリ秒のハーフサインパルスで測定）：	
動作時	140 G
保管時	160 G
高度（最大）：	
動作時	–5.2 ～ 3048 m
保管時	–15.2 ～ 10,668 m
空気中浮遊汚染物質レベル	G2、または ISA-S71.04-1985 が定める規定値以内

4

トラブルシューティング

⚠ **警告：感電の可能性、動作中のファン羽根による裂傷、またはその他予期しない怪我を防ぐため、カバーを開く前には必ずコンピュータの電源プラグをコンセントから抜いてください。**

⚠ **警告：本項の手順を開始する前に、お使いのコンピュータに同梱の、安全にお使いいただくための注意に従ってください。**

ツール

電源ライト

ノートブックコンピュータの前面とトップカバーにある 2 色の電源ボタンライトは、点滅したり点灯することでさまざまな動作状態を示します：

- 電源ライトが消灯している場合は、コンピュータの電源が切れているか、電力が供給されていません。
- 電源ライトが青色に点灯していて、コンピュータが応答しない場合は、ディスプレイが接続されていて電源が入っているかどうか確認してください。
- 電源ライトが青色に点滅している場合、コンピュータはスタンバイモードに入っています。キーボードのキーを押したり、マウスを動かしたり、電源ボタンを押したりすると、通常の動作が再開されます。電源ライトが橙色に点滅していて、コンピュータに電源が供給されている場合、メモリモジュールまたはグラフィックカードといったデバイスが誤作動しているか、正しく取り付けられていない可能性があります。

ビープコード

お使いのコンピュータの起動時に、モニターにエラーメッセージまたは問題を表示できない場合、ビープ音が連続して鳴ることがあります。この一連のビープ音はビープコードと呼ばれ、問題を特定します。3 つの短いビープ音が繰り返すビープコードがあります。このビープコードは、コンピュータがシステム基板障害の可能性を検出したことを示しています。

起動時にコンピュータがビープ音を発する場合、次の手順を実行します：

1 ビープコードを書き留めます。
2 Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行し、その原因をつきとめます（40 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。

コード（連続する短いビープ音）	説明	推奨する改善策
1	BIOS チェックサム障害。マザーボード障害の可能性	デルにお問い合わせください。
2	メモリモジュールが検出されない	**1** 取り付けているメモリモジュールが 2 つ以上の場合、両方のモジュールを取り外してからモジュールの 1 つを取り付けなおし（デルサポートサイト **support.jp.dell.com** の『サービスマニュアル』を参照）、コンピュータを再起動します。コンピュータが正常に起動する場合、別のモジュールを取り付けます。障害のあるモジュールが見つかるまで、あるいはエラーなしにすべてのモジュールを取り付けなおせるまで続けます。 **2** 正常に動作している同じ種類のメモリがある場合は、そのメモリをコンピュータに取り付けます（デルサポートサイト **support.jp.dell.com** の『サービスマニュアル』を参照）。 **3** 問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください。
3	システム基板障害の可能性	デルにお問い合わせください。

コード（連続する短いビープ音）	説明	推奨する改善策
4	RAM 書き込み / 読み取り障害	**1** 特別なメモリモジュール / メモリコネクタ設置要件がないことを確認します（デルサポートサイト **support.jp.dell.com** の『サービスマニュアル』を参照）。 **2** 取り付けるメモリモジュールにコンピュータとの互換性があることを確認します（デルサポートサイト **support.jp.dell.com** の『サービスマニュアル』を参照）。 **3** 問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください。
5	リアルタイムクロック障害 バッテリー障害またはマザーボード障害の可能性	**1** バッテリを交換します（デルサポートサイト **support.jp.dell.com** の『サービスマニュアル』を参照）。 **2** 問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください。
6	ビデオ BIOS テスト障害	デルにお問い合わせください。
7	CPU キャッシュテスト障害	デルにお問い合わせください。

エラーメッセージ

⚠ **警告：本項の手順を開始する前に、お使いのコンピュータに同梱の、安全にお使いいただくための注意に従ってください。**

メッセージがリストにない場合は、メッセージが表示されたときに実行していたオペレーティングシステムまたはプログラムのマニュアルを参照してください。

補助デバイスエラー —タッチパッドまたは外付けマウスに問題がある可能性があります。外付けマウスを使用している場合、ケーブル接続を確認します。セットアップユーティリティで **Pointing Device** オプションの設定を有効にします。詳細に関しては、『サービスマニュアル』(**support.jp.dell.com**) を参照してください。問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください（67 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

コマンド名またはファイル名が違います — 正しいコマンドを入力したか、スペースの位置は正しいか、パス名は正しいかを確認します。

障害によりキャッシュが無効になりました — マイクロプロセッサに内蔵のプライマリキャッシュに問題が発生しました。デルにお問い合わせください（67 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

CD ドライブコントローラエラー — コンピュータからのコマンドに CD ドライブが応答しません。

データエラー — ハードディスクドライブがデータを読めません。

使用可能メモリが減少しています — メモリモジュールに問題があるか、またはメモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおし、必要であれば、メモリモジュールを交換します。詳細に関しては、『サービスマニュアル』(**support.jp.dell.com**) を参照してください。

ディスク C: の初期化失敗 — ハードディスクドライブの初期化に失敗しました。Dell Diagnostics（診断）プログラムの Hard-Disk Drive テストを実行します（40 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。

ドライブの準備ができていません — 操作を続行する前に、ベイにハードディスクドライブがある必要があります。ハードディスクドライブベイにハードディスクドライブを取り付けます。詳細に関しては、『サービスマニュアル』(**support.jp.dell.com**) を参照してください。

PCMCIA カードの読み取りエラー — コンピュータが、ExpressCard を認識できません。カードを挿入しなおす か、別のカードを使用してください。詳細に関しては、『サービスマニュアル』(**support.jp.dell.com**) を参照してください。

拡張メモリの容量が変更されています — 不揮発性メモリ (NVRAM) に記録されているメモリ容量が、実際に取り付けられているメモリ容量と一致しません。コンピュータを再起動します。エラーが再度表示される場合は、デルにお問い合わせください（67 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

コピーするファイルが大きすぎて受け側のドライブに入りません — 指 定のディスクにコピーするにはファイルサイズが大きすぎます。またはディスクがいっぱいで入りません。他のディスクにコピーするか容量の大きなディスクを使用します。

ファイル名には、\ / : * ? " < > | — これらの記号をファイル名に使用しないでください。

ゲート A20 障害 — メモリモジュールがしっかりと接続されていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおし、必要であれば、メモリモジュールを交換します。詳細に関しては、『サービスマニュアル』(**support.jp.dell.com**) を参照してください。

一般的な障害 — オペレーティングシステムはコマンドを実行できません。通常、このメッセージのあとには具体的な情報(例えば、Printer out of paper(プリンタの用紙がありません)が付きます。適切な対応策に従います)。

ハードディスクドライブ設定エラー — コンピュータがドライブの種類を識別できません。コンピュータをシャットダウンし、ハードディスクドライブを取り外してから(お使いの『サービスマニュアル』(**support.jp.dell.com**) を参照)、コンピュータを CD から起動します。次に、コンピュータをシャットダウンし、ハードディスクドライブを再度取り付けて、コンピュータを再起動します。Dell Diagnostics(診断)プログラムの Hard-Disk Drive テストを実行します(40 ページの「Dell Diagnostics(診断)プログラム」を参照)。

ハードディスクドライブコントローラエラー 0 — ハードディスクドライブがコンピュータからのコマンドに応答しません。コンピュータをシャットダウンし、ハードディスクドライブを取り外してから(お使いの『サービスマニュアル』(**support.jp.dell.com**) を参照)、コンピュータを CD から起動します。次に、コンピュータをシャットダウンし、ハードディスクドライブを再度取り付けて、コンピュータを再起動します。問題が解決しない場合、別のドライブを取り付けます。Dell Diagnostics(診断)プログラムの Hard-Disk Drive テストを実行します(40 ページの「Dell Diagnostics(診断)プログラム」を参照)。

ハードディスクドライブ障害 — ハードディスクドライブがコンピュータからのコマンドに応答しません。コンピュータをシャットダウンし、ハードディスクドライブを取り外してから(お使いの『サービスマニュアル』(**support.jp.dell.com**) を参照)、コンピュータを CD から起動します。次に、コンピュータをシャットダウンし、ハードディスクドライブを再度取り付けて、コンピュータを再起動します。問題が解決しない場合、別のドライブを取り付けます。Dell Diagnostics(診断)プログラムの Hard-Disk Drive テストを実行します(40 ページの「Dell Diagnostics(診断)プログラム」を参照)。

ハードディスクドライブ読み取り障害 —ハードディスクドライブが不良である可能性があります。コンピュータをシャットダウンし、ハードディスクドライブを取り外してから（お使いの『サービスマニュアル』(**support.jp.dell.com**) を参照)、コンピュータを CD から起動します。次に、コンピュータをシャットダウンし、ハードディスクドライブを再度取り付けて、コンピュータを再起動します。問題が解決しない場合、別のドライブを取り付けます。Dell Diagnostics（診断）プログラムの Hard-Disk Drive テストを実行します（40 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照)。

起動可能なメディアを挿入します —オペレーティングシステムは、フロッピーディスクまたは CD などの起動用以外のメディアから起動しようとしています。起動可能なメディアを挿入します。

システム情報が間違っています。セットアップユーティリティを実行してください —システム設定情報がハードウェア構成と一致しません。このメッセージは、メモリモジュールの取り付け後に最もよく表示されます。セットアップユーティリティで、該当するオプションを修正します。詳細に関しては、『サービスマニュアル』(**support.jp.dell.com**) を参照してください。

キーボードクロックラインエラー —外付けキーボードを使用している場合は、ケーブル接続を確認します。Dell Diagnostics（診断）プログラムの KeyBoard Controller テストを実行します（40 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照)。

キーボードコントローラエラー —外付けキーボードを使用している場合は、ケーブル接続を確認します。コンピュータを再起動し、起動ルーチン中にキーボードまたはマウスに触れないようにします。Dell Diagnostics（診断）プログラムの KeyBoard Controller テストを実行します（40 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照)。

キーボードデータラインエラー —外付けキーボードを使用している場合は、ケーブル接続を確認します。Dell Diagnostics（診断）プログラムの KeyBoard Controller テストを実行します（40 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照)。

キーボードスタックキーエラー —外付けキーボードまたはキーパッドの、ケーブル接続を確認します。コンピュータを再起動し、起動ルーチン中にキーボードまたはキーに触れないようにします。Dell Diagnostics（診断）プログラムの Stuck Key テストを実行します（40 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照)。

MEDIADIRECT では、ライセンスコンテンツにはアクセスできません — Dell™ MediaDirect™ では、ライセンスファイルに対するデジタル権限管理 (DRM) 制限を検証できないので、ライセンスファイルを再生できません（40 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。

ADDRESS でメモリアドレス行エラー、VALUE を予測する VALUE を読み取ってください — メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおし、必要であれば、メモリモジュールを交換します。詳細に関しては、『サービスマニュアル』(**support.jp.dell.com**) を参照してください。

メモリの割り当てエラー — 実行しようとしているソフトウェアが、オペレーティングシステム、他のアプリケーションプログラム、またはユーティリティと競合しています。コンピュータをシャットダウンし、30 秒待ってから再起動します。再度プログラムを実行してみます。エラーメッセージが依然として表示される場合、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

ADDRESS でメモリアドレス行エラー、VALUE を予測する VALUE を読み取ってください — メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおし、必要であれば、メモリモジュールを交換します。詳細に関しては、『サービスマニュアル』(**support.jp.dell.com**) を参照してください。

ADDRESS でメモリのダブルワードロジックエラー、VALUE を予測する VALUE を読み取ってください — メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおし、必要であれば、メモリモジュールを交換します。詳細に関しては、『サービスマニュアル』(**support.jp.dell.com**) を参照してください。

ADDRESS でメモリの奇数 / 偶数ロジックエラー、VALUE を予測する VALUE を読み取ってください — メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおし、必要であれば、メモリモジュールを交換します。詳細に関しては、『サービスマニュアル』(**support.jp.dell.com**) を参照してください。

ADDRESS でメモリの書き込み / 読み取りエラー、VALUE を予測する VALUE を読み取ってください — メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおし、必要であれば、メモリモジュールを交換します。詳細に関しては、『サービスマニュアル』(**support.jp.dell.com**) を参照してください。

起動デバイスがありません — コンピュータがハードディスクドライブを見つけることができません。ハードディスクドライブが起動デバイスの場合、ドライブが適切に装着されており、起動デバイスとして区分(パーティション)されているか確認します。

ハードディスクドライブにブートセクターがありません — オペレーティングシステムが破損している可能性があります。デルにお問い合わせください(67 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照)。

タイマーチック割り込み信号がありません — システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。Dell Diagnostics(診断)プログラムの System Set テストを実行します(40 ページの「Dell Diagnostics(診断)プログラム」を参照)。

メモリまたはリソースが不足しています。いくつかのプログラムを閉じてもう一度やりなおしてください — 開いているプログラムの数が多すぎます。すべてのウィンドウを閉じ、使用するプログラムのみを開きます。

オペレーティングシステムが見つかりません — ハードディスクドライブを取り付けなおします(お使いの『サービスマニュアル』(**support.jp.dell.com**) を参照)。問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください(67 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照)。

オプション ROM のチェックサムが正しくありません — オプション ROM に問題があります。デルにお問い合わせください(67 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照)。

.DLL ファイルが見つかりません — アプリケーションプログラムに必要なファイルがありません。プログラムを削除してから、再インストールします。

Windows XP:

1 **スタート**→ **コントロールパネル**→ **プログラムの追加と削除**→ **プログラムと機能** をクリックします。
2 削除するプログラムを選択します。
3 **アンインストール** をクリックします。
4 インストール手順については、プログラムのマニュアルを参照してください。

Windows Vista:

1 Windows Vista スタートボタン → **コントロールパネル**→ **プログラム**→ **プログラムと機能** をクリックします。
2 削除するプログラムを選択します。

3 **アンインストール** をクリックします。

4 インストール手順については、プログラムのマニュアルを参照してください。

セクターが見つかりません — オペレーティングシステムがハードディスクドライブ上のセクターを見つけることができません。ハードディスクドライブに不良セクターがあるか、FAT が破損している可能性があります。Windows のエラーチェックユーティリティを実行して、ハードディスクドライブのファイル構造を調べます。Windows ヘルプとサポート（**スタート**→ **ヘルプとサポート** をクリックします）を参照してください。多くのセクターに障害がある場合、可能であればデータをバックアップして、ハードドライブを再フォーマットします。

シークエラー — オペレーティングシステムがハードディスクドライブ上の特定のトラックを見つけることができません。

シャットダウンエラー — システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。Dell Diagnostics（診断）プログラムの System Set テストを実行します（40 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。

内部時計の電源損失 — システム設定が破損しています。コンピュータをコンセントに接続してバッテリーを充電します。問題が解決されない場合、セットアップユーティリティを起動してデータの復元を試してから、すぐにプログラムを終了します（お使いの『サービスマニュアル』**(support.jp.dell.com)** を参照）。メッセージが表示される場合は、デルにお問い合わせください（67 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

内部時計の停止 — システム設定をサポートする予備バッテリーを、再充電する必要がある可能性があります。コンピュータをコンセントに接続してバッテリーを充電します。問題が解決しない場合は、デルにお問い合わせください（67 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

内部時計が設定されていません。セットアップユーティリティを実行してください — セットアップユーティリティで設定した時刻または日付が内部時計と一致しません。**日付** と **時刻** オプションの設定を修正します。詳細に関しては、『サービスマニュアル』**(support.jp.dell.com)** を参照してください。

タイマーチップカウンタ 2 が失敗しました — システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。Dell Diagnostics（診断）プログラムの System Set テストを実行します（40 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。

プロテクトモードで予期せぬ割り込みがありました —キーボードコントローラが誤動作しているか、メモリモジュールの接続に問題がある可能性があります。Dell Diagnostics（診断）プログラムの System Memory テストおよび Keyboard Controller テストを実行します（40 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。

X:\ にアクセスできません。ドライブの準備ができていません —ドライブにディスクを入れ、再試行してください。

警告：バッテリーの充電残量が極めて低下しています —バッテリーの充電量が不足しています。バッテリーを交換するか、コンピュータをコンセントに接続します。または、休止モード を有効にするか、コンピュータをシャットダウンします。

システムメッセージ

メモ：受け取ったメッセージがリストにない場合は、メッセージが表示されたときに実行されていたオペレーティングシステムまたは、プログラムのマニュアルを参照してください。

ALERT! このシステムの前回の起動時に、チェックポイント [NNNN] で障害が発生しました。この問題を解決するには、このチェックポイントをメモしてデルテクニカルサポートにお問い合わせください —同じエラーによって、コンピュータは 3 回連続して起動ルーチンを終了できませんでした（サポートを受けるには 67 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

CMOS チェックサムエラー — システム基板に障害が発生しているか、または RTC バッテリーが低下している可能性があります。バッテリーを交換してください。『サービスマニュアル』**(support.jp.dell.com)** または 67 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

CPU ファン障害 — プロセッサファン障害 プロセッサファンを交換します。『サービスマニュアル』**(support.jp.dell.com)** を参照してください。

ハードディスクドライブ障害 — ハードディスクドライブ POST 実行中に発生したハードディスクドライブ障害の可能性があります。ケーブルを確認またはハードディスクドライブを交換するか、サポートを受けるには 67 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

ハードディスクドライブ読み取り障害 —ハードディスクドライブ起動テスト中にハードディスクドライブ障害が発生した可能性があります（サポートを受けるには 67 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

キーボード障害 —キーボード障害、またはキーボードケーブルが緩んでいる可能性があります。

起動デバイスがありません — ハードディスクドライブ上に起動可能なパーティションが存在しない、ハードディスクドライブケーブルがしっかりと接続されていない、または起動可能なデバイスが存在しません。

- ハードドライブが起動デバイスの場合、ケーブルがドライブに適切に取り付けられていて、起動デバイスとしてパーティション分割されていることを確認します。
- セットアップユーティリティを起動し、起動順序の情報が正しいかを確認します（『サービスマニュアル』**(support.jp.dell.com)** を参照）。

タイマーチック割り込み信号がありません — システム基板上のチップが誤動作しているかまたはシステム基板障害の可能性があります（サポートを受けるには 67 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）。

USB 過電流エラー — USB デバイスを取り外してください。USB デバイスに外部電源を使用します。

注意 - ハードディスクドライブの自己監視システムには、パラメーターが通常の動作範囲を超えていることがレポートされています。デルではデータを定期的にバックアップすることをお勧めしています。範囲外のパラメーターは、潜在的なハードディスクドライブの問題を示す場合とそうでない場合があります — S.M.A.R.T エラー、ハードディスクドライブ障害の可能性があります。この機能は BIOS 設定で有効または無効にできます。

ソフトウェアとハードウェアの問題のトラブルシューティング

デバイスが OS のセットアップ中に検知されない、または、検知されても設定が正しくない場合は、非互換性の問題を解決するためにハードウェアに関するトラブルシューティングを使用できます。

ハードウェアに関するトラブルシューティングを開始するには、次の手順を実行します：

Windows Vista:

1. Windows Vista スタートボタン をクリックしてから、**ヘルプとサポート** をクリックします。
2. 検索フィールドで、ハードウェアに関するトラブルシューティング と入力し、<Enter> を押して検索を開始します。
3. 検索結果のうち、問題を最もよく表しているオプションを選択し、残りのトラブルシューティング手順に従います。

Windows XP:

1. **スタート→ ヘルプとサポート** をクリックします。
2. 検索フィールドで、ハードウェアに関するトラブルシューティング と入力し、<Enter> を押して検索を開始します。
3. **問題を解決する** セクションで、**ハードウェアに関するトラブルシューティング** をクリックします。
4. **ハードウェアに関するトラブルシューティング** の一覧で、問題を適切に示すオプションを選択し、**次へ** をクリックしてトラブルシューティングの残りの手順に従います。

Dell Diagnostics（診断）プログラム

警告：本項の手順を開始する前に、お使いのコンピュータに同梱の、安全にお使いいただくための注意に従ってください。

Dell Diagnostics（診断）プログラムを使用する場合

コンピュータに問題が発生した場合、デルテクニカルサポートに問い合わせる前に、「フリーズおよびソフトウェアの問題」のチェック事項（44 ページの「フリーズおよびソフトウェアの問題」を参照）を実行してから、Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行してください。

作業を始める前に、これらの手順を印刷しておくことをお勧めします。

注意：Dell Diagnostics（診断）プログラムは Dell コンピュータでのみ機能します。

メモ：『Drivers and Utilities』メディアはオプションなので、出荷時にすべてのコンピュータに付属しているわけではありません。

『サービスマニュアル』(**support.jp.dell.com**) を参照して、コンピュータの設定情報を再検討し、テストするデバイスがセットアップユーティリティに表示され、アクティブであることを確認します。

Dell Diagnostics（診断）プログラムを、ハードディスクドライブまたはお使いのコンピュータに付属する『Drivers and Utilities』メディアから起動します。

Dell Diagnostics（診断）プログラムをハードディスクドライブから起動する場合

メモ：コンピュータの画面に画像が表示されない場合は、67 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

1 コンピュータが、正常に動作することが確認されているコンセントに接続されていることを確かめます。

2 コンピュータの電源を入れます（または再起動します）。

3 DELL™ のロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押します。起動メニューから **Diagnostics** を選択し、<Enter> を押します。

   メモ：キーを押すタイミングが遅れて、オペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、Microsoft® Windows® デスクトップが表示されるのを待ち、コンピュータをシャットダウンして操作をやりなおしてください。

   メモ：診断ユーティリティパーティションが見つからないことを知らせるメッセージが表示された場合は、『Drivers and Utilities』メディアから Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します。

4 任意のキーを押してハード ディスクドライブ上の診断ユーティリティパーティションから Dell Diagnostics（診断）プログラムを起動し、画面の指示に従います。

Dell Diagnostics（診断）プログラムを Drivers and Utilities メディア から 起動する場合

1 『Drivers and Utilities』メディアを挿入します。

2 コンピュータをシャットダウンして、再起動します。

   DELL のロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押します。

   メモ：キーを押すタイミングが遅れて、OS のロゴが表示されてしまったら、Microsoft® Windows® デスクトップが表示されるのを待ち、コンピュータをシャットダウンして再度試します。

   メモ：次の手順は、起動順序を 1 回だけ変更します。次回の起動時には、コンピュータはセットアップユーティリティで指定したデバイスに従って起動します。

3 起動デバイスの一覧が表示されたら、**CD/DVD/CD-RW** をハイライト表示して <Enter> を押します。

4 表示されたメニューから **Boot from CD-ROM** オプションを選択し、<Enter> を押します。

5 1 を入力して、CD のメニューを開始し、<Enter> を押して続行します。

6 番号の付いたリストから **Run the 32 Bit Dell Diagnostics** を選択します。複数のバージョンがリストにある場合は、お使いのコンピュータに適切なバージョンを選択してください。

7 Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Main Menu** が表示されたら、実行するテストを選択し、画面の指示に従います。

トラブルシューティングのヒント

コンピュータのトラブルシューティングについては、次のヒントに従ってください：

- 部品を追加したり取り外した後に問題が発生した場合、取り付け手順を見直して、部品が正しく取り付けられているか確認します（『サービスマニュアル』(**support.jp.dell.com**) を参照）。
- デバイスが機能しない場合、デバイスが適切に接続されているか確認します。
- 画面にエラーメッセージが表示される場合、メッセージを正確にメモします。このメッセージは、サポート担当者が問題を診断および解決するのに役立ちます。
- プログラムの実行中にエラーメッセージが表示される場合、プログラムのマニュアルを参照してください。

メモ：このマニュアルに記載されている手順は、Windows のデフォルト表示用に書かれているため、お使いのコンピュータをクラシック表示に設定している時には適用されない場合があります。

電源の問題

警告：本項の手順を開始する前に、お使いのコンピュータに同梱の、安全にお使いいただくための注意に従ってください。

電源ライトが消灯している場合 — コンピュータの電源が切れているか、またはコンピュータに電力が供給されていません。

- 電源ケーブルをコンピュータ背面の電源コネクタとコンセントに装着しなおします。
- 電源タップ、電源延長ケーブル、およびその他の電源保護装置を使用している場合は、それらを外してコンピュータの電源が正常に入ることを確認します。
- 使用している電源タップがあれば、電源コンセントに接続され、オンになっていることを確認します。

- 電気スタンドなどの別の電化製品で試して、コンセントが機能しているか確認します。
- 主電源ケーブルおよび前面パネルケーブルがシステム基板にしっかりと接続されているかを確認します（お使いの『サービスマニュアル』(**support.jp.dell.com**) を参照）。

電源ライトが青色に点灯していて、コンピュータの応答が停止した場合 —

- ディスプレイが接続されていて電源が入っているか確認します。
- ディスプレイが接続されていて電源が入っている場合は、29 ページの「ビープコード」を参照してください。

電源ライトが青色に点滅している場合 — コンピュータはスタンバイモードになっています。キーボードのキーを押したり、マウスを動かしたり、電源ボタンを押したりすると、通常の動作が再開されます。

電源ライトが黄色に点滅している場合 — コンピュータに電源は供給されていますが、デバイスが誤作動しているか、正しく取り付けられていない可能性があります。

- すべてのメモリモジュールを取り外してから、取り付けなおします（お使いの『サービスマニュアル』(**support.jp.dell.com**) を参照）。
- グラフィックスカードを含む拡張カードをすべて取り外してから、再度取り付けます（お使いの『サービスマニュアル』(**support.jp.dell.com**) を参照）。

電源ライトが黄色に点灯している場合 — 電源に問題が発生している、デバイスの誤作動している、またはデバイスが正しく取り付けられていません。

- プロセッサ電源ケーブルがシステム基板の電源コネクタにしっかりと接続されているかを確認します（お使いの 『サービスマニュアル』(**support.jp.dell.com**) を参照）。
- 主電源ケーブルおよび前面パネルケーブルがシステム基板コネクタにしっかりと接続されているかを確認します（お使いの『サービスマニュアル』(**support.jp.dell.com**) を参照）。

電気的な妨害を解消します — 電気的な妨害の原因には、以下のものがあります :

- 電源、キーボード、およびマウス拡張ケーブル
- 同じ電源タップに接続されているデバイスが多すぎる
- 同じコンセントに複数の電源タップが接続されている

メモリの問題

⚠ **警告：本項の手順を開始する前に、お使いのコンピュータに同梱の、安全にお使いいただくための注意に従ってください。**

メモリが不足しているというメッセージが表示された場合 —

- 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、使用していない実行中のプログラムをすべて終了して、問題が解決するか調べます。
- メモリの最小要件については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。必要に応じて増設メモリを取り付けます（お使いの『サービスマニュアル』(**support.jp.dell.com**) を参照）。
- メモリモジュールを装着しなおし、（お使いの『サービスマニュアル』(**support.jp.dell.com**) を参照）コンピュータがメモリと正常に通信しているか確認します。
- Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します（40 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。

メモリにその他の問題がある場合 —

- メモリモジュールを装着しなおし、（お使いの『サービスマニュアル』(**support.jp.dell.com**) を参照）コンピュータがメモリと正常に通信しているか確認します。
- メモリの取り付けガイドラインに従っているか確認します（お使いの『サービスマニュアル』(**support.jp.dell.com**) を参照）。
- 使用するメモリがお使いのコンピュータでサポートされていることを確認します。お使いのコンピュータに対応するメモリの詳細については、22 ページの「メモリ」を参照してください。
- Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します（40 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照）。

フリーズおよびソフトウェアの問題

⚠ **警告：本項の手順を開始する前に、お使いのコンピュータに同梱の、安全にお使いいただくための注意に従ってください。**

コンピュータが起動しない場合

電源ケーブルがコンピュータとコンセントにしっかりと接続されているか確認します

コンピュータの反応が停止した場合

注意：オペレーティングシステムのシャットダウンが実行できない場合、データを損失する恐れがあります。

コンピュータの電源を切ります —キーボードのキーを押したり、マウスを動かしてもコンピュータが応答しない場合、電源ボタンを 8 ～ 10 秒以上押し続けてコンピュータの電源を切ったあと、コンピュータを再起動します。

プログラムが応答しなくなった場合

プログラムを終了します —

1 <Ctrl><Shift><Esc> を同時に押してタスクマネージャを開きます。
2 **アプリケーション** タブをクリックします。
3 クリックして応答しなくなったプログラムを選択し、**タスクの終了** をクリックします。

プログラムが繰り返しクラッシュする

メモ：ほとんどのソフトウェアのインストールの手順は、ソフトウェアのマニュアル、フロッピーディスク、CD または DVD に収録されています。

ソフトウェアのマニュアルを参照します —必要に応じて、プログラムをアンインストールしてから再インストールします。

プログラムが以前の Microsoft® Windows® オペレーティングシステム向けに設計されている

プログラム互換性ウィザードを実行します —

Windows Vista:

Windows Vista には、Windows Vista オペレーティングシステムとは異なるオペレーティングシステムに近い環境で、プログラムが動作するよう設定できるプログラム互換性ウィザードがあります。

1 **スタート** → **コントロールパネル** → **プログラム** → **このバージョンの Windows でより古いプログラムを使用する** をクリックします。
2 プログラム互換性ウィザードの開始画面で、**次へ** をクリックします。
3 画面の指示に従います。

Windows XP:

Windows XP には、Windows XP オペレーティングシステムとは異なるオペレーティングシステムに近い環境で、プログラムが動作するよう設定できるプログラム互換性ウィザードがあります。

1 **スタート**→ **プログラム**→ **アクセサリ**→ **プログラム互換性ウィザード**→ **次へ** をクリックします。

2 画面の指示に従います。

画面が青色（ブルースクリーン）になった

コンピュータの電源を切ります — キーボードのキーを押したり、マウスを動かしてもコンピュータが応答しない場合、電源ボタンを 8 ～ 10 秒以上押し続けてコンピュータの電源を切ったあと、コンピュータを再起動します。

その他のソフトウェアの問題

問題のあるソフトウェアのマニュアルを参照するか、またはトラブルシューティングの詳細に関して、そのソフトウェアの製造元に問い合わせます —

- プログラムがお使いのコンピュータにインストールされているオペレーティングシステムに対応しているか確認します。
- お使いのコンピュータがソフトウェアを実行するのに必要な最小ハードウェア要件を満たしていることを確認します。情報に関しては、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。
- プログラムが正しくインストールおよび設定されているか確認します。
- デバイスドライバがプログラムと拮抗していないか確認します。
- 必要に応じて、プログラムをアンインストールしてから再インストールします。

すぐにお使いのファイルのバックアップを作成します

- ウイルススキャンプログラムを使用して、ハードディスクドライブ、フロッピーディスク、CD または DVD を調べます
- 開いているファイルまたはプログラムをすべて保存してから閉じ、スタート メニューからコンピュータをシャットダウンします

Dell テクニカル Update Service

Dell テクニカル Update Service は、お使いのコンピュータに関するソフトウェアおよびハードウェアのアップデートを E- メールにて事前に通知するサービスです。このサービスは無償で提供され、内容、フォーマット、および通知を受け取る頻度をカスタマイズすることができます。

Dell テクニカル Update Service に登録するには、**support.dell.com/technicalupdate**（英語）にアクセスしてください。

デルサポートユーティリティ

デルサポートユーティリティは、お使いのコンピュータにインストールされており、タスクバーのデルサポート、アイコンまたは **スタート** ボタンから使用できます。このサポートユーティリティは、セルフサポート情報、ソフトウェアのアップデート、およびお使いのコンピュータ環境の状態をスキャンする場合に使用します。

デルサポートユーティリティへのアクセス

デルサポートユーティリティは、タスクバーの アイコンまたは **スタートメニュー** からアクセスできます。

デルサポートアイコンがタスクバーに表示されていない場合は、次の手順を実行します：

1 **スタート**→ **すべてのプログラム**→ **デルサポート**→ **デルサポート設定**をクリックします。

2 **タスクバーのアイコンを表示する** オプションがチェックされていることを確認します。

メモ：デルサポートユーティリティが **スタートメニュー** から利用できない場合は、**support.jp.dell.com** からソフトウェアをダウンロードしてください。

デルサポートユーティリティは、お使いのコンピュータ環境にカスタマイズされています。

タスクバーの アイコンは、アイコンをクリック、ダブルクリック、または右クリックする場合でそれぞれ機能が異なります。

デルサポートアイコンのクリック

次のタスクを実行するには、 アイコンをクリックまたは右クリックします：

- お使いのコンピュータ環境のチェック。
- デルサポートユーティリティの設定の表示。
- デルサポートユーティリティのヘルプファイルへのアクセス。
- よくあるお問い合わせ (FAQ) の表示。
- デルサポートユーティリティの詳細の参照。
- デルサポートユーティリティの終了。

デルサポートアイコンのダブルクリック

 アイコンをダブルクリックすると、お使いのコンピュータ環境の手動チェック、よくあるお問い合わせ (FAQ) の表示、デルサポートユーティリティのヘルプファイルへのアクセス、デルサポート設定の表示を実行できます。

デルサポートユーティリティの詳細に関しては、**Dell™ サポート** 画面の上部にある疑問符 (？) をクリックしてください。

5

ソフトウェアの再インストール

ドライバ

ドライバの確認

デバイスに問題が発生した場合、次の手順を実行して問題の原因がドライバかどうかを判断し、必要に応じてドライバをアップデートしてください。

Microsoft® Windows Vista®:

1 Windows Vista™ のスタートボタン をクリックして、**コンピュータ**を右クリックします。

2 **プロパティ**→ **デバイスマネージャ** をクリックします。

> メモ：**ユーザー アカウント コントロール**ウィンドウが表示される場合があります。コンピュータの管理者の場合は、**続行** をクリックします。管理者でない場合は、管理者に連絡して作業を続けます。

Microsoft Windows® XP:

1 **スタート**→ **コントロールパネル** をクリックします。

2 **作業する分野を選びます** で、**パフォーマンスとメンテナンス** をクリックし、**システム** をクリックします。

3 **システムのプロパティ** ウィンドウで、**ハードウェア** タブをクリックし、**デバイスマネージャ** をクリックします。

一覧をスクロールダウンし、デバイスアイコン上の感嘆符（**[!]** の付いた黄色の円）の付いたデバイスを探します。

デバイス名の横に感嘆符がある場合、ドライバの再インストールまたは新しいドライバのインストールが必要な場合があります（50 ページの「ドライバおよびユーティリティの再インストール」を参照）。

ドライバおよびユーティリティの再インストール

注意： デルサポートサイト **support.jp.dell.com** および『Drivers and Utilities』メディアには、お使いの Dell™ コンピュータ用として承認済みのドライバが提供されています。その他の媒体からのドライバをインストールすると、お使いのコンピュータが適切に動作しない恐れがあります。

以前のデバイスドライババージョンへの復帰

Windows Vista:

1 Windows Vista のスタートボタン をクリックして、**コンピュータ**を右クリックします。

2 **プロパティ**→ **デバイスマネージャ** をクリックします。

メモ：ユーザーアカウントコントロール ウィンドウが表示される場合があります。コンピュータの管理者の場合は、**続行** をクリックします。管理者でない場合は、管理者に連絡してデバイスマネージャを起動します。

3 新しいドライバをインストールしたデバイスを右クリックして、**プロパティ** をクリックします。

4 **ドライバ** タブ→ **ドライバのロールバック** をクリックします。

Windows XP:

1 **スタート**→ **マイコンピュータ**→ **プロパティ**→ **ハードウェア**→ **デバイスマネージャ** をクリックします。

2 新しいドライバをインストールしたデバイスを右クリックして、**プロパティ** をクリックします。

3 **ドライバ** タブ→ **ドライバ のロールバック** をクリックします。

デバイスドライバのロールバックを使っても問題が解決しない場合、システムの復元（52 ページの「お使いのオペレーティングシステムの復元」を参照）を使って、新しいドライバがインストールされる前の動作状態にオペレーティングシステムを戻します。

Drivers and Utilities メディアの使い方

デバイスドライバのロールバックまたはシステム復元（52 ページの「お使いのオペレーティングシステムの復元」を参照）で問題を解決できない場合、『Drivers and Utilities』メディアからドライバを再インストールします。

1 Windows デスクトップが表示されている状態で、『Drivers and Utilities』メディア を挿入します。

『Drivers and Utilities』メディアを初めてお使いになる場合は、手順 2 に進みます。それ以外の場合は手順 5 に進みます。

2 『Drivers and Utilities』メディア インストールプログラムが起動したら、画面の指示に従います。

メモ：ほとんどの場合、『Drivers and Utilities』プログラムは自動的に起動します。自動的に起動しない場合は、Windows エクスプローラを起動し、メディアドライブのディレクトリをクリックしてメディアの内容を表示し、次に **autorcd.exe** ファイルをダブルクリックします。

3 **InstallShield ウィザード** の完了 ウィンドウが表示されたら、『Drivers and Utilities』メディアを取り出し、**完了** をクリックしてコンピュータを再起動します。

4 Windows デスクトップが表示されたら、『Drivers and Utilities』メディアをもう一度挿入します。

5 **ウィザードへようこそ** 画面で、**次へ** をクリックします。

メモ：『Drivers and Utilities』プログラムでは、出荷時にお使いのコンピュータに取り付けられていたハードウェアのドライバのみが表示されます。追加のハードウェアを取り付けた場合、新しいハードウェアのドライバは表示されないことがあります。ドライバが表示されていない場合は、『Drivers and Utilities』プログラムを終了します。ドライバの情報については、デバイスに付属するマニュアルを参照してください。

『Drivers and Utilities』メディアがコンピュータ上のハードウェアを検出中であるというメッセージが表示されます。

お使いのコンピュータで使用されているドライバが、**マイドライバ — Resource CD はシステム上でこれらのコンポーネントを検出しました** ウィンドウに自動的に表示されます。

6 再インストールするドライバをクリックし、画面の指示に従います。

特定のドライバが一覧に表示されていない場合は、オペレーティングシステムはそのドライバを必要としません。

ドライバを手動でインストールするには

前項で記述されているように、お使いのハードディスクドライブにドライバファイルを解凍してから :

1 Windows Vista のスタートボタン をクリックして、**コンピュータ**を右クリックします。

2 **プロパティ**→ **デバイスマネージャ** をクリックします。

メモ : **ユーザーアカウントコントロール** ウィンドウが表示される場合があります。コンピュータの管理者の場合は、**続行** をクリックします。管理者でない場合は、管理者に連絡してデバイスマネージャを起動します。

3 インストールするドライバのデバイスのタイプをダブルクリックします（たとえば、**オーディオ** または **ビデオ**）。

4 インストールするドライバのデバイスの名前をダブルクリックします。

5 **ドライバ** タブ→**ドライバの更新**→**コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します** をクリックします。

6 **参照** をクリックして、あらかじめドライバファイルをコピーしておいた場所を参照します。

7 該当するドライバの名前が表示されたら、ドライバの名前→ **OK**→ **次へ** をクリックします。

8 **完了** をクリックして、コンピュータを再起動します。

お使いのオペレーティングシステムの復元

次の方法で、お使いのオペレーティングシステムを復元することができます :

- Microsoft Windows システムの復元 は、データファイルに影響させることなく、お使いのコンピュータを以前の状態に戻します。オペレーティングシステムを復元し、データファイルを保持する最初の解決策として、システムの復元を使用してください。
- Dell Factory Image Restore （Windows Vista で利用可能）は、お使いのハードディスクドライブをコンピュータの工場出荷時の動作状態に戻します。このプログラムはハードディスクドライブ内の全データを永久に削除し、またコンピュータを受け取った後にインストールしたプログラムもすべて削除します。Dell Factory Image Restore は、システムの復元でオペレーティングシステムの問題を解決できなかった場合にのみ使用してください。

- コンピュータに『オペレーティングシステム』メディアが付属している場合は、この CD を使用してオペレーティングシステムを復元できます。ただし、『オペレーティングシステム』メディアを使用すると、ハードディスクドライブ上のデータがすべて削除されます。システムの復元でオペレーティングシステムの問題を解決できなかった場合にのみ、このメディアを使用してください。

Microsoft® Windows® システムの復元の使い方

ハードウェア、ソフトウェア、またはその他のシステム設定を変更したために、コンピュータが正常に動作しなくなってしまった場合は、Windows オペレーティングシステムのシステムの復元オプションを使用して、コンピュータを以前の動作状態に復元することができます（データファイルへの影響はありません）。システムの復元オプションによってコンピュータに行なわれる変更は、完全に元に戻すことが可能です。

注意：データファイルのバックアップを定期的に作成してください。システムの復元は、データファイルの監視や、データファイルの復元は行いません。

メモ：このマニュアルの手順は、Windows のデフォルトビュー用ですので、お使いの Dell™ コンピュータを Windows クラシック表示に設定していると動作しない場合があります。

メモ：お使いの Dell™ コンピュータを Windows クラシック表示に設定してください。

システムの復元の開始

Windows Vista:

1. スタート をクリックします。
2. 検索の開始ボックスに **System Restore** と入力し、**<Enter>** キーを押します。

   メモ：ユーザーアカウントコントロール ウィンドウが表示される場合があります。コンピュータのシステム管理者の場合は、**続行** をクリックします。そうでない場合は、目的の操作を続けられるようにシステム管理者に連絡します。

3. **次へ** をクリックして、画面に表示される指示に従います。

システムの復元を実行しても問題が解決されない場合、最後に行ったシステムの復元を取り消すことができます（54 ページの「最後のシステムの復元の取り消し」を参照）。

Windows XP:

注意：コンピュータを以前の動作状態に復元する前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除したりしないでください。

1 **スタート**→ **すべてのプログラム** → **アクセサリ**→ **システムツール**→ **システムの復元** をクリックします。
2 **コンピュータを以前の状態に復元する**、または **復元ポイントの作成** のいずれかをクリックします。
3 **次へ** をクリックして、画面に表示される指示に従います。

最後のシステムの復元の取り消し

注意：最後のシステムの復元を元に戻す前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除したりしないでください。

Windows Vista:

1 **スタート** をクリックします。
2 検索の開始ボックスに システムの復元 と入力し、<Enter> キーを押します。
3 **以前の復元を取り消す** をクリックして、**次へ** をクリックします。

Windows XP:

1 **スタート**→ **すべてのプログラム**→ **アクセサリ**→ **システムツール** → **システムの復元** をクリックします。
2 **以前の復元を取り消す** をクリックして、**次へ** をクリックします。

システムの復元の有効化

メモ：Windows Vista では、ディスク領域が少ない場合でも、システムの復元は無効になりません。したがって、次の手順は Windows XP のみに適用されます。

200 MB より空き容量が少ないハードディスクに Windows XP を再インストールした場合、システムの復元は自動的に無効に設定されています。

システムの復元が有効になっているか確認するには、次の手順を実行します :

1 **スタート** → **コントロールパネル** → **パフォーマンスとメンテナンス** → **システム** をクリックします。

2 **システムの復元** タブをクリックし、**システムの復元を無効にする** のチェックマークが付いていないことを確認します。

Dell™ Factory Image Restore の使い方

注意：Dell Factory Image Restore を使用すると、ハードディスクドライブのすべてのデータは永久に削除され、コンピュータを受け取った後にインストールされたすべてのアプリケーションプログラムやドライバも削除されます。できる限り、このオプションを使用する前にデータをバックアップするようにしてください。Dell Factory Image Restore は、システムの復元でオペレーティングシステムの問題を解決できなかった場合にのみ使用してください。

メモ：Dell Factory Image Restore は、国またはコンピュータによってはご利用になれない場合があります。

Dell Factory Image Resotre (Windows Vista) は、お使いのオペレーティングシステムを復元するための最終手段としてのみ使用してください。このオプションは、お使いのハードディスクドライブを、コンピュータご購入時の状態に戻します。コンピュータを受け取られてから追加された、データファイルを含むどのようなプログラムやファイルも永久にハードディスクドライブから削除されます。データファイルには、コンピュータ上の文書、表計算、メールメッセージ、デジタル写真、ミュージックファイルなどが含まれます。可能であれば、Factory Image Restore を使用する前にすべてのデータをバックアップしてください。

Dell Factory Image Restore（Windows Vista のみ）

1 コンピュータの電源を入れます。Dell のロゴが表示されたら、<F8> を数回押して Vista Advanced Boot Options ウィンドウにアクセスします。

2 **コンピュータの修復** を選択します。

システム回復オプションウィンドウが表示されます。

3 キーボードレイアウトを選択して、**次へ** をクリックします。

4 回復オプションにアクセスするために、ローカルユーザーとしてログオンします。コマンドプロンプトにアクセスするために、ユーザー名フィールドで administrator と入力し、**OK** をクリックします。

5 **Dell Factory Image Restore** をクリックします。

メモ：使用する構成によっては、**Dell Factory Tools**、**Dell Factory Image Restore** の順序で選択しなければならない場合もあります。

6 Dell Factory Image Restore ウェルカム画面で **次へ** をクリックします。

データ削除の確認画面が表示されます。

注意：Factory Image Restore をこれ以上進めたくない場合は、**キャンセル** をクリックします。

7 ハードディスクドライブの再フォーマット、およびシステムソフトウェアの工場出荷時の状態への復元の作業を続ける意思を確認するためのチェックボックスをオンにして、**次へ** をクリックします。

復元処理が開始します。復元処理が完了するまで 5 分以上かかる場合があります。オペレーティングシステムおよび工場出荷時にインストールされたアプリケーションが工場出荷時の状態に戻ると、メッセージが表示されます。

8 **完了** をクリックして、コンピュータを再起動します。

オペレーティングシステムメディアの使い方

作業を開始する前に

新しくインストールしたドライバの問題を解消するために Windows オペレーティングシステムの再インストールを検討している場合は、最初に Windows のデバイスドライバのロールバックを試してください。50 ページの「以前のデバイスドライババージョンへの復帰」を参照してください。デバイスドライバのロールバックを実行しても問題が解決されない場合、Microsoft Windows システムの復元を使ってオペレーティングシステムを新しいデバイスドライバがインストールされる前の動作状態に戻します。53 ページの「Microsoft® Windows® システムの復元の使い方」を参照してください。

注意：インストールを実行する前に、お使いのプライマリハードドライブ上のすべてのデータファイルのバックアップを作成しておいてください。標準的なハードドライブ構成において、プライマリハードドライブはコンピュータによって 1 番目のドライブとして認識されます。

Windows を再インストールするには、Dell™『オペレーティングシステム』メディアおよび Dell『Drivers and Utilities』メディアが必要です。

メモ：『Drivers and Utilities』メディア には、コンピュータの製造工程でプリインストールされたドライバが収録されています。Dell 『Drivers and Utilities』メディアを使用して、必要なドライバをロードします。お使いのコンピュータを購入した地域、またはメディアの注文の有無によっては、Dell『Drivers and Utilities』メディアと『オペレーティングシステム』メディアがシステムに付属していない場合があります。

Windows の再インストール

再インストール処理を完了するには、1 ～ 2 時間かかることがあります。オペレーティングシステムを再インストールした後、デバイスドライバ、アンチウイルスプログラム、およびその他のソフトウェアを再インストールする必要があります。

1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。

2 『オペレーティングシステム』メディアを挿入します。

3 Windows のインストール というメッセージが表示されたら、**終了** をクリックします。

4 コンピュータを再起動します。

DELL のロゴが表示されたら、すぐに <F12> を押します。

メモ：キーを押すタイミングが遅れて、OS のロゴが表示されてしまったら、Microsoft® Windows® デスクトップが表示されるのを待ち、コンピュータをシャットダウンして再度試します。

メモ：次の手順は、起動順序を 1 回だけ変更します。次回の起動時には、コンピュータはセットアップユーティリティで指定したデバイスに従って起動します。

5 起動デバイスの一覧が表示されたら、**CD/DVD/CD-RW Drive** をハイライト表示して <Enter> を押します。

6 任意のキーを押して **CD から起動** し、画面の指示に従ってインストールを完了します。

6

情報の検索方法

メモ：一部の機能やメディアはオプションなので、出荷時にコンピュータに搭載されていない場合があります。特定の国では使用できない機能やメディアもあります。

メモ：追加の情報がコンピュータに同梱されている場合もあります。

マニュアル / メディア / ラベル	内容
サービスタグ / エクスプレスサービスコード サービスタグ / エクスプレスサービスコードは、コンピュータに貼付されています。	• サービスタグは、**support.jp.dell.com** を使用の際、またはサポートへのお問い合わせの際に、コンピュータの識別に使用します。 • エクスプレスサービスコードを利用すると、サポートに直接電話で問い合わせることができます。 メモ： サービスタグ / エクスプレスサービスコードは、コンピュータに貼付されています。
Drivers and Utilities メディア 『Drivers and Utilities』のメディアとして CD または DVD が、お使いのコンピュータに同梱されている場合があります。	• コンピュータの Diagnostics（診断）プログラム • お使いのコンピュータ用のドライバ メモ：ドライバとマニュアルのアップデートに関しては、**support.jp.dell.com** をご覧ください。 • ノートブックシステムソフトウェア (NSS) • Readme ファイル メモ：メディアに収録されている Readme ファイルは、マニュアルの作成後にシステムに追加された変更や、技術者や専門知識をお持ちのユーザーを対象とするテクニカルリファレンスなどが記載されています。

マニュアル / メディア / ラベル	内容
オペレーティングシステムメディア 『オペレーティングシステム』のメディアとして CD または DVD が、お使いのコンピュータに同梱されている場合があります。	オペレーティングシステムの再インストール
安全、規制、保証およびサポートマニュアル この種の情報は、お使いのコンピュータに同梱されているか、オンラインでご利用いただけます。認可機関の更に詳しい情報は、**www.dell.com** の法令へのコンプライアンスに関するホームページを参照してください：**www.dell.com/regulatory_compliance**	• 保証情報 • 契約条項（アメリカ のみ） • 安全にお使いいただくための注意 • 認可機関の情報 • 快適な使い方 • エンドユーザーライセンス契約
サービスマニュアル お使いのコンピュータの『サービスマニュアル』は、**support.jp.dell.com** でご覧いただけます。	• 部品の取り外しおよび取り付け方法 • システムの設定方法 • トラブルシューティングおよび問題解決の方法
Dell テクノロジガイド 『Dell テクノロジガイド』は、**support.jp.dell.com** でご覧いただけます。	• お使いのオペレーティングシステムについて • デバイスの使い方とメンテナンス • RAID、インターネット、Bluetooth® ワイヤレステクノロジ、E- メール、ネットワークおよびその他様々なテクノロジについて
Microsoft® Windows® ライセンスラベル お使いの Microsoft Windows ライセンスは、コンピュータに貼付されています。	• オペレーティングシステムのプロダクトキーが記載されています。

7

困ったときは

テクニカルサポートを受けるには

⚠ **警告：コンピュータカバーを取り外す必要がある場合、まずコンピュータの電源ケーブルとモデムケーブルをすべてのコンセントから外してください。お使いのコンピュータに同梱の、安全にお使いいただくための注意に従ってください。**

コンピュータに何らかの問題が発生した場合は、問題の診断と解決のために次の手順を完了します：

1 コンピュータで発生している問題に関する情報および手順については、42 ページの「トラブルシューティングのヒント」を参照してください。

2 Dell Diagnostics（診断）プログラムの実行の手順については、40 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照してください。

3 66 ページの「診断チェックリスト」に必要事項を記入してください。

4 インストールとトラブルシューティングの手順については、デルサポートサイト (**support.jp.dell.com**) をご覧ください。デルサポートオンラインのより詳細なリストについては、62 ページの「オンラインサービス」を参照してください。

5 これまでの手順で問題が解決されない場合、67 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

メモ：デルサポートへお問い合わせになるときは、できればコンピュータの電源を入れて、コンピュータの近くから電話をおかけください。サポート担当者がコンピュータでの操作をお願いすることがあります。

メモ：デルのエクスプレスサービスコードシステムをご利用できない国もあります。

デルのオートテレフォンシステムの指示に従って、エクスプレスサービスコードを入力すると、電話は適切なサポート担当者に転送されます。エクスプレスサービスコードをお持ちでない場合は、**Dell Accessories** フォルダを開き、**エクスプレスサービスコード** アイコンをダブルクリックします。その後は、表示される指示に従ってください。

デルサポートの利用方法については、62 ページの「テクニカルサポートとカスタマーサービス」を参照してください。

メモ：これらのサービスはアメリカ合衆国以外の地域では利用できない場合があります。サービスが利用可能かどうかに関しては、最寄りのデル担当者へお問い合わせください。

テクニカルサポートとカスタマーサービス

Dell™ ハードウェアに関するお問い合わせは、デルのテクニカルサポートをご利用ください。サポートスタッフはその情報を元に、正確な回答を迅速に提供します。

デルのテクニカルサポートへお問い合わせになるときは、まず 65 ページの「お問い合わせになる前に」を参照し、次に、お住まいの地域の連絡先を参照するか、**support.jp.dell.com** をご覧ください。

DellConnect

DellConnect は簡単なオンラインアクセスツールで、このツールの使用により、デルのサービスおよびサポートは、ブロードバンド接続を通じてコンピュータにアクセスし、お客様の監視の下で問題の診断と修復を行うことができるようになります。詳細については、**support.jp.dell.com** にアクセスし、**DellConnect** をクリックしてください。

オンラインサービス

Dell 製品およびサービスについては、次のウェブサイトをご覧ください：

www.dell.com

www.dell.com/ap（アジア / 太平洋諸国）

www.dell.com/jp（日本）

www.euro.dell.com（ヨーロッパ）

www.dell.com/la（ラテンアメリカおよびカリブ海諸国）

www.dell.ca（カナダ）

デルサポートへのアクセスには、次の Web サイトおよび E- メールアドレスをご利用ください :

- デルサポートサイト

  support.dell.com

  support.jp.dell.com（日本）

  support.euro.dell.com（ヨーロッパ）

- デルサポートの E- メールアドレス

  mobile_support@us.dell.com

  support@us.dell.com

  la-techsupport@dell.com（ラテンアメリカおよびカリブ海諸国）

  apsupport@dell.com（アジア / 太平洋諸国）

- デルのマーケティングおよびセールスの E- メールアドレス

  apmarketing@dell.com（アジア / 太平洋諸国）

  sales_canada@dell.com（カナダ）

- Anonymous file transfer protocol（Anonymous FTP）

  ftp.dell.com

  ログインユーザー名 : anonymous。パスワードには E- メールアドレスを入力してください。

ファックス情報サービス

ファックス情報サービスは、フリーコールでファクシミリを使用して技術情報を提供するサービスです。

プッシュホン式の電話から必要なトピックを選択します。電話番号については、67 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

24 時間納期案内電話サービス

注文したデル製品の状況を確認するには、**support.jp.dell.com** にアクセスするか、24 時間納期情報案内サービスにお問い合わせください。音声による案内で、注文について調べて報告するために必要な情報をお伺いします。電話番号については、67 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

ご注文に関する問題

欠品、部品の誤り、間違った請求書などの注文に関する問題がある場合は、デルカスタマーケアにご連絡ください。お電話の際は、納品書または出荷伝票をご用意ください。電話番号については、67 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

製品情報

デルのその他の製品に関する情報や、ご注文に関しては、デルウェブサイト **www.dell.com/jp** をご覧ください。お住まいの地域のセールスの電話番号について、またはセールス担当者への連絡は、67 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

保証期間中の修理と返品について

『「こまった」ときの DELL パソコン Q&A』をご覧ください :

1. はじめにデルの営業担当者にご連絡ください。デルから製品返送用の RMA ナンバー（返却番号）をお知らせいたしますので梱包する箱の外側にはっきりとよくわかるように書き込んでくださ い。

   電話番号については、67 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。納品書のコピーと返品理由を記入した書面を同梱してください。

2. 実行したテストと Dell Diagnostics（診断）プログラム（67 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照）から出力されたエラーメッセージを記入した Diagnostics（診断）チェックリスト（66 ページの「診断チェックリスト」を参照）のコピーを同梱してください。
3. 修理や交換ではなく、返金を希望される場合は、返品する製品のアクセサリ（電源ケーブル、ソフトウェアフロッピーディスク、マニュアルなど）も同梱してください。
4. 返却品一式を出荷時のシステム梱包箱か同等の箱に梱包してください。

送料はお客様のご負担となります。また、お客様には返品する製品を保証する責任があり、デルへの搬送中に紛失する恐れも想定されます。代金引換払い (Collect On Delivery = C.O.D.) は受け付けられません。

上記要件のいずれかを欠く返品は受け付けられず、返送扱いとなります。

お問い合わせになる前に

メモ：お電話の際は、エクスプレスサービスコードをご用意ください。エクスプレスサービスコードを利用すると、デルのオートテレフォンシステムによって、より迅速にサポートが受けられます。また、サービスタグ（コンピュータの背面または底部にあります）が必要な場合もあります。

診断チェックリストに前もってご記入ください（66 ページの「診断チェックリスト」を参照）。デルへお問い合わせになるときは、できればコンピュータの電源を入れて、コンピュータの近くから電話をおかけください。キーボードからのコマンドの入力や、操作時に詳細情報を説明したり、コンピュータ自体でのみ可能な他のトラブルシューティング手順を試してみるようにお願いする場合があります。システムのマニュアルがあることを確認してください。

警告：コンピュータ内部の作業を始める前に、お使いのコンピュータに同梱の『安全にお使いいただくための注意』を参照してください。

診断チェックリスト

名前：

日付：

住所：

電話番号：

サービスタグナンバー（コンピュータ背面または底面のバーコードの番号）：

エクスプレスサービスコード：

返品番号（デルサポート担当者から提供された場合）：

オペレーティングシステムとバージョン：

周辺機器：

拡張カード：

ネットワークに接続されていますか ? はい いいえ

ネットワーク、バージョン、ネットワークアダプタ：

プログラムとバージョン：

オペレーティングシステムのマニュアルを参照して、システムの起動ファイルの内容を確認してください。コンピュータにプリンタを接続している場合、各ファイルを印刷します。印刷できない場合、各ファイルの内容を記録してからデルにお問い合わせください。

エラーメッセージ、ビープコード、または Diagnostics（診断）コード：

問題点の説明と実行したトラブルシューティング手順：

デルへのお問い合わせ

米国にお住まいの方は、800-WWW-DELL (800-999-3355) までお電話ください。

メモ：インターネット接続の環境にない場合は、納品書、出荷伝票、請求書、または Dell 製品カタログに記載されている連絡先をご利用ください。

デルでは、複数のオンラインと、電話ベースのサポートおよびサービスオプションを用意しています。利用できる手段は国や製品により異なる場合があります。また地域によっては一部のサービスが受けられない場合もあります。セールス、テクニカルサポート、カスタマーサービスへのお問い合わせは、次の手順を実行してください：

1 **support.jp.dell.com** へアクセスします。
2 ページの下にある **国 / 地域の選択** ドロップダウンメニューで、お住まいの国 / 地域を確認します。
3 ページの左側にある **お問い合わせ** をクリックします。
4 目的のサービスまたはサポートを選択します。
5 ご自身に最適なデルへの問い合わせ方法を選んでください。

索引

う

え

お

か

こ

さ

し

せ